

大学院研究室だより

平成20年度 論文博士・修士論文題目と執筆者氏名

論文博士

博士論文

ガ格及びノ格名詞句の位置と認可の方法 藤巻 一真

博士前期課程

英語学専攻

修士論文

A Focus Movement Approach to the Cleft Construction in English
..... 本多 正敏

修士研究報告

Vocabulary Knowledge of Japanese High School Students: Size, Strategies
and Assessment 鮎川 哲夫

On the Criteria for Assessment of Japanese Senior High School Students'
Speech Performance 大久保京子

A Comparison between Japanese and English Translations of Media Texts
..... 大澤 啓子

日本語学専攻

修士研究報告

「ら抜き言葉」の使用に関する言語内的要因と言語外的要因
ー自然談話資料の分析からー 藤井 直之

格助詞「に」と「で」の違いについて
ー「時」を表す表現を対象にー 金城 岳大

「言語科学研究センター」（Center for Language Sciences : CLS）

CLS では、平成20年度には次の5つの研究プロジェクトが学外の公的研究助成を受け進行しており、以下にリストした研究会は、これらの研究プロジェクト活動の一環として開催され、多くの参加者を得た。

- 日本学術振興会 科学研究費補助金 基盤研究(B)『文の語用的機能と統語論：日本語の主文現象からの提言』（研究代表者：長谷川 信子；研究分担者：遠藤 喜雄）
- 日本学術振興会 科学研究費補助金 基盤研究 (B)『早期英語教育指導者の養成と研修に関する総合的研究』（研究代表者：小林 美代子；研究分担者：宮本 弦、田中 真紀子）
- 日本学術振興会 科学研究費補助金 基盤研究 (B)『語彙とテキスト理解：読解に関わる語彙知識の多面性と語彙の意味について』（研究代表者：堀場 裕紀江；研究分担者：岩本 遠億、木川 行央）
- 日本学術振興会 科学研究費補助金 基盤研究 (C)『早期英語教育教材に見る語彙と文法の特徴：真に「英語が使える日本人」育成に向けて』（研究代表者：神谷 昇；研究分担者：長谷川 信子、小林 美代子）
- （独）科学技術振興機構 社会技術研究開発センター委託研究「脳科学と教育」タイプ（II）による他大学との合同研究プロジェクト『言語の発達・脳の成長・言語教育に関する統合的研究』（研究リーダー：萩原裕子、首都大学東京）、研究サブ領域「言語学・応用言語学に基づく、外国語能力の検査、判定、評価法の開発」担当（機関代表者：長谷川 信子；研究分担者：井上和子、小林 美代子、堀場 裕紀江）

こうした研究の成果も含め、CLS での研究の成果は、研究紀要 *Scientific Approaches to Language* (SAL) にも掲載されており、20年度末には SAL 第8号が刊行予定である。SAL 掲載論文および研究会など、より詳しい CLS の活動内容は CLS のホームページ＜<http://www.kandagaigo.ac.jp/kuis/labo/cls/>>に掲載されている。

平成20年度 言語科学研究センター 研究会

<言語学レクチャー>

タイトル：ミニマリズムと日本語

講演者：宮川 繁氏 (MIT・教授)

日時とトピック：

(1) 2008年4月16日 (水) 18:30～20:00

Why Minimalism?

(2) 2008年4月23日 (水) 18:30～20:00

Optionality and Last Resort

(3) 2008年5月7日 (水) 18:30～20:00

Is There Such a Thing as a Language Without Agreement?

(4) 2008年5月14日 (水) 18:30～20:00

Is There Such a Thing as a Language Without Agreement?

(5) 2008年6月11日 (水) 18:30～20:00

Genitive Subjects in Altaic Languages

(6) 2008年6月25日 (水) 18:30～20:00

α P Projection (I)

(7) 2008年7月2日 (水) 18:30～20:00

α P Projection (II)

(8) 2008年7月9日 (水) 18:30～20:00

Syntax and Semantics of Ditransitive Verbs

会場：神田外語大学3号館304教室

<言語学コロキウム>

日時：2008年6月4日 (水) 16:00～18:30

会場：神田外語大学2号館203教室

発表者：

・富岡 諭氏 (デラウェア大学・准教授)

‘Why’ questions, Presuppositions, and Intervention Effects

- ・ Kyle Johnson 氏 (マサチューセッツ大学 アマースト校・教授)

Fitting a Multidominant Model of Movement to Reconstruction Effects

<理論言語学・日本語学ワークショップ>

『統語構造と文の機能 (Force) : 項構造・命題を超えて』

日時 : 2008年7月26日 (土) 10:20~17:00

2008年7月27日 (日) 10:30~17:00

会場 : 神田外語学院3号館7階 プラザ・アズール

発表者 :

- ・ 長谷川 信子氏 (神田外語大学・教授)

ワークショップの趣旨

CP 構造 : 現代日本語の「係り結び的」現象から

- ・ 富岡 諭氏 (デラウェア大学・准教授)

対照の主題と発話行為

- ・ 野田 尚史氏 (大阪府立大学・教授)

日本語の主文現象と従属節現象

- ・ 佐野 まさき氏 (立命館大学・教授)

とりたて詞と Agreement / Chain

- ・ 眞鍋 雅子氏 (神田外語大学 言語科学研究センター・非常勤研究員)

Xナラの構造と意味

- ・ 遠藤 喜雄氏 (神田外語大学・教授)

統語構造地図における情報構造と局所性

- ・ 北川 善久氏 (インディアナ大学・准教授)

Wh 疑問文における主文現象

- ・ 森山 卓郎氏 (京都教育大学・教授)

モダリティの体系について

- ・ 藤巻 一真氏 (神田外語大学 言語科学研究センター・非常勤研究員)

日本語の主語位置のイディオムからの検証

<言語学コロキウム>

日時：2008年7月29日（火）16：00～17：30

会場：神田外語大学2号館302教室

講師：Juan Uriagereka氏（メリーランド大学・教授）

演題：Where Does the Recursive Buck Stop?

<言語教育レクチャー>

日時：2008年9月16日（火） 18：30～20：00

会場：神田外語大学3号館103教室

講師：Tony Green氏（ベッドフォードシャー大学・主任講師）

演題：No 'can do' ? Relating English learning, teaching and assessment to the
Common European Framework of Reference for Languages (CEFR)

<言語学コロキウム>

日時：2008年10月15日（水）17：30～19：00

会場：神田外語大学2号館203教室

講師：Julia Horvath氏（テルアビブ大学・教授）

演題：Syntax and the Lexicon: Morphological Causatives on a Comparative
Perspective (Tal Siloni 氏との共同研究)

<言語教育レクチャー>

日時：2008年12月3日（水）18：30～20：00

会場：神田外語大学3号館301教室

講師：Tess Fitzpatrick氏（スウォンジー大学・上級講師）

演題：Using word association responses to explore the nature of vocabulary
knowledge

<小学校英語特別セミナー「実りある小学校英語に向けて」>

主催：神田外語大学、ブリティッシュ・カウンシル

（後援：文部科学省、東京都教育委員会、千代田区教育委員会、社団法人 東

京都専修学校各種学校協会、社団法人 全国外国語教育振興協会）

日時：2009年2月8日（日）10：00～17：40

会場：神田外語学院本館7階講堂 他

プログラム：

- ・オープニング

- ・基調講演1 斎藤 栄二氏（京都外国語大学・京都教育大学 名誉教授）

「めざそう、豊かな小学校の英語教育」

- ・基調講演2 デイヴィッド・ヘイズ氏（カナダ・ブロック大学）

“What makes a good primary English teacher?: Strategies for success in teaching and training”

- ・ワークショップ

シャンタール・ヘンミ氏（ブリティッシュ・カウンシル）

「5年生向けコミュニケーション重視の活動」

トム・レッドブリ氏 & マーク・フィーリー氏（ブリティッシュ・カウンシル）

「『アクティビティ』を超えて—プロジェクト活動による小学校英語の展開—」

宮本 弦氏（神田外語大学）

「チャンツ集で英語力UP！—指導者のための英語運用練習—」

杉山 みゆき氏（神田外語キッズクラブ）

「小学校『英語ノート（試作版）』における文字指導法とフォニックス」

- ・パネルディスカッション

「実りある小学校英語に向けて」